

ALL JAPAN EV-GP SERIES 2025 ROUND 3

第3戦 | 全日本 岡山 EV 55kmレース大会

2025年5月31日(土) 雨天決行 岡山国際サーキット

主催: 日本電気自動車レース協会 (JEVRA)



JEVRA_X



JEVRA_IG

災害用
充電車

T救号

普段はEV充電車、緊急時には電源車に!!

～仕様により様々なアジャストが可能です～



■車両スペック

車両	日野デュトロ(N04C)
搭載発電機	HMG (hybrid magnetic generator) × 3基
発電機搭載箇所	追加コンプレッサー取付部×1基・フライホイールPTO部×2基
発電機出力容量	DC300V—50A 15kVA (発電機1基あたり)
搭載バッテリー	東芝製 SCiB 2P12S × 10 個直列
バッテリー容量	DC300V—40A 12kVA
Total 出力容量	DC300V—190A 57kVA (発電機3基+バッテリー)
搭載充電器	DCJ503D4AUF(デルタ電子製)・True-G50(Milla-E50 菊水電子工業製)
出力電圧	DC12V / DC24V / DC300V / AC100V / AC200V(3φ) ※出力電圧は仕様により任意に変更可能

東洋電産株式会社

東洋電産株式会社 愛鷹テクノセンター
〒410-0301 静岡県沼津市宮本 243 番 7
TEL:055-929-0511

JEVRA 出張充電サポートのご案内

日本電気自動車レース協会(JEVRA)では、2014年より出張充電サポートを開始して以来、数多くの充電サポートを行って参りました。

全国各地にお伺いして出張充電サポートを様々な会場で行っておりますので、是非ご利用下さい。

移動充電サポート会場(例)

- EVディーラー研修会
- EV走行会
- ジャーナリストEV試乗会
- EVイベント会場
- 急速充電器の無い会場
- 一般EV試乗会
- EV同好会のオフ会
- 空飛ぶクルマ

移動充電サポート内容

- 60kW/h出力の急速充電器による充電サポート。
- 電源は、300kVA出力の電源車で稼働致します。
- 接続プラグは、CHAdeMO(日本)/CCS1(米国)/CCS2(欧州)/GBT(中国)に対応致します。



ご利用料金

※充電サポート会場によって異なりますので、お気軽にお問合せ下さい。

- 急速充電器ご利用料(60kW/h出力)
- 電源車ご利用料(延長ケーブル等の御使用料が別途必要です)
- 宿泊代(宿泊を伴う場合)
- 高速料金(高速道路を使用する場合)
- 車両移動燃料代(急速充電器&電源車)
- 電源車燃料代(急速充電器稼働時使用燃料代)
- 車両超過距離加算(片道100Km以上)



E V 充電器の最適解

Simple, Flexible, Connected.

株式会社ジゴワッツの充電器ソリューション

国内最小 3.2kW
EV用普通充電器
Ella

8KWの高速充電。産業用モデル

シンプルでフレキシブルなEllaの利便性は
そのままに、より高速な8kW出力と
過酷な現場での使用に耐える
耐久性を向上。
不特定多数での利用環境や、
1日に何度も利用される
物流分野を支えています。

Wi-Fi, LTE(オプション)通信

OCPP 1.6対応

JARI認証取得済

CEV補助金対応

Contact

弊社製品にご興味をお持ちの方は以下の販売代理店様にお問い合わせください。

COCOPLUG株式会社

愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1-1 JPタワー21F

info@cocoplug.com

有限会社アートライフ

埼玉県さいたま市桜区西堀8-14-23

info_ev@artlife.bz

究極のスピード

120KW急速充電器

CHAdeMOケーブル2本の同時使用が可能

CEV補助金対応機種

株式会社ジゴワッツ <https://jigowatts.jp/>

2025 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 岡山 EV 55km レース大会

ROUND

3

MESSAGE

開催のご挨拶



日本電気自動車レース協会 (JEVRA)

理事長 関谷 正徳

Masanori Sekiya

日本電気自動車レース協会 (JEVRA) は、地球温暖化防止と電気自動車 (EV) 産業発展および優秀な人材育成を目的に2010年3月に設立して2025年で16シーズン目を迎えました。“地球温暖化”による環境破壊が進む中で、“環境に優しいEVレース”を通じて「地球温暖化に対する意識改革」を推進致します。また、SDGsの達成に向けた取り組みも行い、「気候変動」という国境のないグローバルな課題に挑戦して参ります。気象パターンは変化し、海面は上昇し、異常気象は益々激しくなり、温室効果ガスの排出量は史上最高水準に達しています。

このような様々な難題の解決策として、カーボンニュートラルを目指すこれからの時代は、限りなく「再生可能エネルギー」の使用を目指し、「開発の場」としてのモータースポーツフィールドを活用しEV開発のスピードアップに貢献出来るよう努め、将来を担うEV産業の優秀な人材育成にも「EVレース」を通じて教育環境を提供して参りますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

2025 CALENDAR

第1戦	3月29日(土)	55km	袖ヶ浦フォレストレースウェイ/千葉県
第2戦	4月27日(日)	55km	筑波サーキット/茨城県
第3戦	5月31日(土)	55km	岡山国際サーキット/岡山県
第4戦	6月28日(土)	60km	袖ヶ浦フォレストレースウェイ/千葉県

第5戦	7月27日(日)	55km	モビリティリゾートもてぎ/栃木県
第6戦	8月30日(土)	55km	富士スピードウェイ/静岡県
第7戦	10月19日(日)	60km	筑波サーキット/茨城県

TIME SCHEDULE

※タイムスケジュールは天候その他の理由により変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
参加受付 (事務局6番ビット2F)		40 EV 15'	55									
ブリーフィング (事務局6番ビット2F)		5 EV 15'	20									
車両検査 (車検場)			35 EV 30'	5								
公式予選				20 EV 35'	15'							
充電			急速充電器/普通充電	①	②	③		急速充電器/普通充電	①	②	③	
スタート進行								50 EV 10'				
決勝								EV 15Laps				
表彰式 (事務局6番ビット2F)									50 EV 5'	15'		

※予選後と決勝後の充電順は抽選で決定しますので通知された充電時間枠をご利用ください。その他の時間は参加受付後より自由に急速充電器の利用が可能です。



リザルト
RESULTS

ORGANIZATION

- 開催日 令和7年5月31日(土)
- 会場 岡山国際サーキット/岡山県
- レース距離 55km (3,703m × 15周)
- 主催 日本電気自動車レース協会 (JEVRA)
- 組織 理事長 関谷 正徳
理事 舘 信秀
理事 藤本 康孝
理事 柳田 真孝
理事/事務局長 富沢 久哉
- 大会協賛 Hyundai Mobility Japan 株式会社
住友ゴム工業株式会社
横浜ゴム株式会社
株式会社ジゴワッツ
東洋電産株式会社
デルタ電子株式会社
ICCインターナショナル株式会社

- 特別会員 電気自動車普及協議会 (APEV)
EV オーナークラブ (EVOC)
Hyundai Mobility Japan 株式会社
住友ゴム工業株式会社
横浜ゴム株式会社
株式会社ジゴワッツ
日本道路株式会社
東洋電産株式会社
株式会社繁原製作所
デルタ電子株式会社
ICCインターナショナル株式会社
株式会社アット・モバイル
株式会社日本ヴェーテック
株式会社トムス
- JEVRA 賛助会員



日本電気自動車レース協会 (JEVRA)
〒157-0067 東京都世田谷区喜多見2-6-30
株式会社 M&T プランニング
TEL.03 (6411)0092

[ホームページデザイン]



[プログラムデザイン]

Tecmag

タイヤは、
雨で選ぼ。



2025 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 岡山 EV 55km レース大会

ROUND 3

ENTRY LIST

エントリー：参加10台

No.	ドライバー	クラス	車 名	電池 / 容量	モーター出力	タイヤ	エントラント	代表者
1	KIMI	EV-1	GULF RACING PLAID	100 kWh	750 kW	YH	GULF RACING	八代 公博
7	YUU	EV-2	GULF RACING M3	79 kWh	338 kW	YH	GULF RACING	八代 公博
22	小峰 猛彦	EV-1	モタスポ .net IONIQ 5 N	84 kWh	478 kW	DL	モタスポ .net Racing Project	小峰 猛彦
26	望月 裕司	EV-R	MKproject NOTE-R	-	80 kW	DL	MK Racing Service	三井 亮
27	岩沢 理久	EV-R	MKproject NOTE-R	-	80 kW	DL	MK Racing Service	三井 亮
55	モンド スミオ	EV-3	モンドコーヒー モデル 3 RWD	55 kWh	202 kW	YH	モンドレーシング	神谷 貴之
77	本間 康文	EV-4	Mother Audio NJS ZE1	40 kWh	110 kW	YH	NJS RACING	本間 康文
89	近藤 雅之	EV-P	Modulo Racing Honda e	36 kWh	113 kW	YH	Modulo Racing Team	黒石田 利文
321	木村 哲也	EV-2	WIKISPEED Tesla 3	75 kWh	377 kW	YH	WIKISPEED EV RACING	Joe Justice
555	廣瀬 多喜雄	EV-R	e-Power AURA NISMO	-	100 kW	DL	OIRAKU RACING	廣瀬 多喜雄

[クラス] EV-1=モーター出力400kw以上 / EV-2=250Kw以上400kw未満 / EV-3=150Kw以上250kw未満 / EV-4=150Kw未満 / EV-S=400kw未満 / EV-C=市販車改造(出力自由) / EV-F=燃料電池車両(FCV) / EV-R=レンジエクステンダー / EV-P=プロトタイプ
[タイヤ] DL=ダンロップ / YH=ヨコハマ [電池] Li=リチウムイオン電池

POINT RANKING

	順位	氏 名	Rd.1 袖ヶ浦	Rd.2 筑波	Rd.3 岡山	Rd.4 袖ヶ浦	Rd.5 もてぎ	Rd.6 富士	Rd.7 筑波	TOTAL
総合	1	KIMI	15	20						35
	2	地頭所 光	20	8						28
	3	YUU	10	10						20
	4	西島 真	-	15						15
	5	澤田 晴輝	-	12						12
	〃	CHOI J.W.	12	-						12
	7	モンド スミオ	8	4						12
	8	遠藤 幸和	-	6						6
	〃	安井 亮平	6	-						6
	10	本間 康文	4	-						4
	11	柴田 知輝	-	3						3
	〃	廣瀬 多喜雄	3	-						3
	13	菊田 辰哉	-	2						2
	〃	トンシトウ	2	-						2
	15	飯田 章	-	1						1
	〃	坂下 利明	1	-						1

クラス	順位	氏 名	Rd.1 袖ヶ浦	Rd.2 筑波	Rd.3 岡山	Rd.4 袖ヶ浦	Rd.5 もてぎ	Rd.6 富士	Rd.7 筑波	TOTAL
EV-1	1	KIMI	20	20						40
	2	地頭所 光	-	15						15
	〃	CHOI J.W.	15	-						15
	4	柴田 知輝	-	12						12
EV-2	1	YUU	15	10						25
	2	西島 真	-	20						20
	〃	地頭所 光	20	-						20
	4	澤田 晴輝	-	15						15
	5	遠藤 幸和	-	12						12
EV-3	1	モンド スミオ	20	20						40
EV-4	1	本間 康文	20	-						20
EV-F	1	飯田 章	-	20						20
	〃	トンシトウ	20	-						20
EV-R	1	廣瀬 多喜雄	20	15						35
	2	天田 啓紀	-	20						20
	3	坂下 利明	15	-						15
	4	小川 亜嵐	-	12						12
	〃	田島 豊晴	12	-						12
	6	大野 博美	10	-						10
EV-P	1	菊田 辰哉	-	20						20
	〃	安井 亮平	20	-						20

1位:20point/2位:15point/位:12point/4位:10point/5位:8point/6位:6point/7位:4point/8位:3point/9位:2point/10位:1point

※同点の場合は優勝回数の多い順/2位以下も同等とするがそれでも同点の場合は最終戦の順位が上位者を優位とする。

ヒョンデ 新型スモール EV INSTER 誕生



ヒョンデ Line Up

IONIQ 5 N

高性能 EV

IONIQ 5

最大航続距離 703 km

KONA

コンパクト SUV

INSTER

新型スモール EV



INSTER の
詳細はこちらから



2025 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 岡山 EV 55km レース大会

ROUND

3

環境に優しい 電気自動車(EV)レース

2010年にスタートして今年で16シーズン目を迎えた「日本電気自動車レース協会(JEVRA)」が主催するカーボンニュートラルを目指した“地球環境”に優しいモータースポーツが「全日本EVグランプリ」だ。走行中の二酸化炭素(CO2)の排出をゼロにし、“地球沸騰化”を抑える優しいEVレースは、これからの新しいモータースポーツとして世界中で注目されている。新しい時代を牽引するEVを“レース”というフィールドで競い合い、互いの性能を鍛え上げることによる技術開発のスピードアップと市販車へのフィードバックを推し進めるという目的でEV-GPシリーズは開催される。第3戦は10台による戦いが「岡山国際サーキット」をステージに55Km(15周)で行われる!!

EVによる 9クラスによる戦い

EV-GPシリーズは、本シーズンのクラス変更により、全9クラスに分かれての戦いが行われる。EV市販車クラスは、駆動モーター最大出力による4クラスとSUV(スポーツユーティリティークール)のみによるEV-Sクラス、燃料電池車(FCV)のEV-Fクラス、レンジエクステンダーのEV-Rクラスに分かれる。総合優勝争いに一番近いのがEV-1クラスで、出力400kW以上のポルシェ・タイカン、特斯拉・モデルS、ヒョンデ・IONIQ5Nなどだ。EV-2クラスは、250kW以上400kW未満の特斯拉・モデル3、BYD・SEALなどが対象となる。EV-3クラスは、250kW以上400kW未満で対象車種は日産・リーフe+ (160kW)と特斯拉・モデル3スタンダード

レンジプラスの参加でより激しい争いに期待が膨らむ。EV-4クラスが150kW未満で日産・リーフ(110kW)やマツダ・MX-30(107kW)などが対象となる。EV-Sクラスは400kW未満のSUVで日産・アリア、特斯拉・モデルY、アウディ・e-TRON Q4などが対象となり、市販車のエンジンをモーターに転換したEV-C(コンバート)クラス(出力自由)と、開発もしくはレース専用に製作されたEV-P(プロトタイプ)クラス(出力自由)がある。EV-Fクラスの燃料電池車(FCV)と、“エンジンで発電する”EV-R(レンジエクステンダークラス)の走りにも注目したい。以上の9クラスがそれぞれのクラスで勝負を競い合うことになる。

「第3戦」岡山ラウンドの見どころ

EV-1 クラス

モーター出力400kW以上

EV-1クラスからは、前大会で激しいバトルを魅せてくれたKIMI選手が引き続き特斯拉・モデルS Plaidで参戦する。そこに去年の富士戦で優勝した以来の参加となる小峰猛彦選手がヒョンデ・IONIQ5 Nで対抗する!2011年ぶりの岡山戦でヒョンデと特斯拉どちらが市販EV最強の座に輝くのか大注目だ!!



EV-2 クラス

モーター出力250kW以上
400kW未満

EV-2クラスからは、2台が参加する。前大会同様、GULF RACINGからはYUU選手が特斯拉・モデル3で参戦する。WIKISPEED EV RACINGからは、木村哲也選手が321号車の特斯拉・モデル3で初参戦する。岡山で特斯拉・モデル3とSがレースをするのは初となるが、どんなポテンシャルを見せてくれるのか注目だ!



EV-3 クラス

モーター出力150kW以上
250kW未満

EV-3クラスからは、前大会に引き続きモドスミオ選手が特斯拉・モデル3(202kW)で参戦する。全大会の筑波ではEV-2クラスのモデル3と遜色ない走りを見せていたが、筑波同様テクニカルなコースである岡山でモドスミオ選手がどんな走りをするのかに期待がかかる!



EV-4 クラス

モーター出力150kW未満

EV-4クラスは今シーズンから参加出力制限が変更され、昨シーズンのEV-3と参加対象車両が同じになっている。今大会の参加は無いが今後の参戦に期待だ。



EV-S クラス

SUV車両/
モーター出力400kW未満

このクラスも他クラスと同様に本シーズンから参加出力制限が変更された。今大会の参加は無いが、モーター出力の制限が設けられ、昨シーズンよりも参加しやすくなっているので、今後様々なチームが参戦してくることに期待が膨らむ!



EV-C クラス

市販車にモーターと
バッテリーに変換した車両

EV-C(コンバート)クラスは、市販車ベースのエンジンをモーターとLiバッテリーに変換し「EV」に改造した車両による戦いとなる。今大会の参加は無いが今後の参戦に期待だ。



EV-F クラス

燃料電池車両

EV-F(フューエルセル)クラスは、水素による発電をした電気で行く燃料電池車両で争われるクラスで対象はトヨタ・ミライやホンダ・クラリティなどだ。今大会の参加は無いが今後の参戦に期待だ。



EV-R クラス

レンジエクステンダー

レンジエクステンダーは“エンジンで発電する”新しい発想の車両だ。前大会に引き続き今大会も廣瀬多喜雄選手が日産・AURAで、MK projectからは望月裕司選手と岩沢理久選手が日産・ノートで参戦する。今大会は三つ巴でのバトルとなるが、誰がクラス優勝するのかに注目していきたい!



EV-P クラス

開発車両もしくは
レース専用車両

EV-P(プロトタイプ)クラスからは、Modulo Racing Teamから近藤雅之選手がHonda eで参戦する。今大会は一台のみの参加となる。前大会の筑波ではトヨタ・ミライとのバトルを繰り広げた同車だが、今大会では他クラスとどんな熱いバトルを繰り広げてくれるのかに大注目だ!



I・C・Cインターナショナルは
お客様のあらゆるニーズにお応えし
電源が必要などんな場所へも最適な電気を供給いたします。



4tタイプ

周波数 50Hz 270KVA
60Hz 300KVA
出力型式 三相3線/三相4線式
出力電圧 100V/200V/400V
〈使用実例〉コンサートツアー、機器展示会



4t特殊無停電電源車

周波数 50Hz 125KVA
60Hz 150KVA
出力型式 単相3線/三相3線/三相4線式
出力電圧 100V/200V
〈使用実例〉CM撮影、スポーツ中継



Smile & Security

笑顔と安心のために



トスネットグループ
I・C・Cインターナショナル株式会社



上記のQRコードからも弊社ホームページにアクセスできます

トスネットホームページ

ICCインターナショナル

検索

100kW
2出力同時充電

世界標準
OCPPスマート
チャージング

小型化による
設置面積の削減と
コストの低減



新製品

EV/PHEV用 100kWDC充電器 EVHJ104シリーズ

- 最大定格出力100kW
- 世界最小・最軽量クラスの省スペース設計
- CHAdeMO、CCS1/CCS2に対応可能
- 決済・クーポン発行サービス「EZQC」対応
- クラウドサービス対応



サービス
エリア



駐車場



充電サービス
ステーション



商業地域



運輸・輸送
ハブ

デルタ電子株式会社

〒105-0012 東京都港区芝大門2-1-14 TEL:03-5733-1111
<http://www.delta-japan.jp> e-mail: jpmarketing@deltaww.com

 **DELTA**
Smarter. Greener. Together.

日本電気自動車レース協会(JEVRA)は 様々な活動を行っております!!



JAPAN ELECTRIC VEHICLE RACE ASSOCIATION

地球温暖化防止の対策

→ EVレースを通して地球温暖化に対する皆様の意識改革を推進します

EVレースの開催

→ EVレースという技術開発/人材育成の場所を提供します

EV用急速充電器の開発/販売

→ 小型で簡単に移動ができる急速充電器を販売しています

充電サポートの実施

→ 充電インフラの整っていない会場でのイベントを可能にします

移動充電車の製作/開発

→ どんな場所にでも移動して充電ができるトラックを販売します

EVイベントの開催

→ イベントを通してEVの普及を推進していきます

EV公道レースの開催企画

→ 地球環境保護と地方創生のお手伝いをします

次世代EV充電ステーションの構築

→ EV充電場所に対する新しいご提案をします

自然エネルギーの活用

→ 太陽光/風力/水力等の自然エネルギーによる電力供給のご提案をします

jevra.jp

2025 ALL JAPAN EV-GP SERIES

2025シリーズ レギュレーション抜粋

● 2024シリーズからの主な変更点

第3章 参加車両

第1条 参加車両規定

第8項 タイヤ

1. 使用タイヤは、JEVRAに「登録認定」した次のタイヤメーカーのみ使用できる。

① 住友ゴム工業株式会社 製

② 横浜ゴム株式会社 製

2. 使用タイヤは、レース専用タイヤ(スリックタイヤ/レーシングレインタイヤ/Sタイヤ)及び、公道走行不可のタイヤを除き自由とする。また、**使用禁止のタイヤの型式は下記の通り**とする。

① 住友ゴム工業株式会社 製 → DIREZZA 03G/02G/D93J

② 横浜ゴム株式会社 製 → ADVAN A005/ADVAN A050

5. タイヤに対する走行前の**意図的な加熱(タイヤウォーマー等)**は一切禁止する。

第2条 参加クラス

第1項 参加クラス

EV-1クラス	市販車クラス(モーター最大出力 400kW 以上)
EV-2クラス	市販車クラス(モーター最大出力 250kW 以上 400kW 未満)
EV-3クラス	市販車クラス(モーター最大出力 150kW 以上 250kW 未満)
EV-4クラス	市販車クラス(モーター最大出力 150kW 未満)
EV-Sクラス	市販車クラス(SUV形状/モーター最大出力 400kW 未満)
EV-Cクラス	コンバートクラス(エンジンをモーターに換装した車両)
EV-Pクラス	プロトタイプ・クラス(開発車両/レース専用車両)
EV-Fクラス	市販車クラス(FCV=燃料電池車クラス)
EV-Rクラス	市販車クラス(レンジエクステンダー/発電をエンジンで行う車両)

第4条 競技車両番号

第2項 貼付け場所およびゼッケンサイズ

フロント部、左右、ルーフ部、後部の5ヶ所に貼ること。但し、オープンカーのルーフ部は除く。

ゼッケンは**白の台紙の上に黒色で、一桁のサイズはタテ20cm 以上とし、後部はタテ12cm 以上**とする。

取り付け時は容易に剥れないように固定すること。走行中に剥がれた場合は、ピットインを命ずる場合がある。

第6章 公式予選

第1条 予選方式

第2項 予選基準タイム

各クラスの予選1位のタイムを基準タイムとし、これの110%を超えた車両は決勝に出走できない。

参加台数が1台のみのクラスの場合、基準タイムはJEVRAが決定する。ただし次の者はこの限りではない。

1. 本シーズンより起算して3年以内にシリーズ総合順位が5位以上の者

2. JEVRAが特別に認めた者

● 『Hyundai N 賞』について

HyundaiはEVモータースポーツの発展を支援するため、本大会において「Hyundai N 賞」を設立しました。

Hyundai IONIQ 5 N で参加の方が以下の章典の対象になります。

1位	¥100,000 -
2位	¥50,000 -
3位	¥30,000 -
シリーズチャンピオン	¥500,000 -

Okayama International Circuit

Circuit Guide

COURSE DATA 規格: FIA国際公認

コース全長 3,703m

コース幅 12 ~ 15m

コース高低差 29m

直線長

最高点=ホップスコーナー(標高275m)

最低点=アトウッドカーブ(標高246m)

メインストレート約600m

(1.08%勾配)

バックストレート約700m

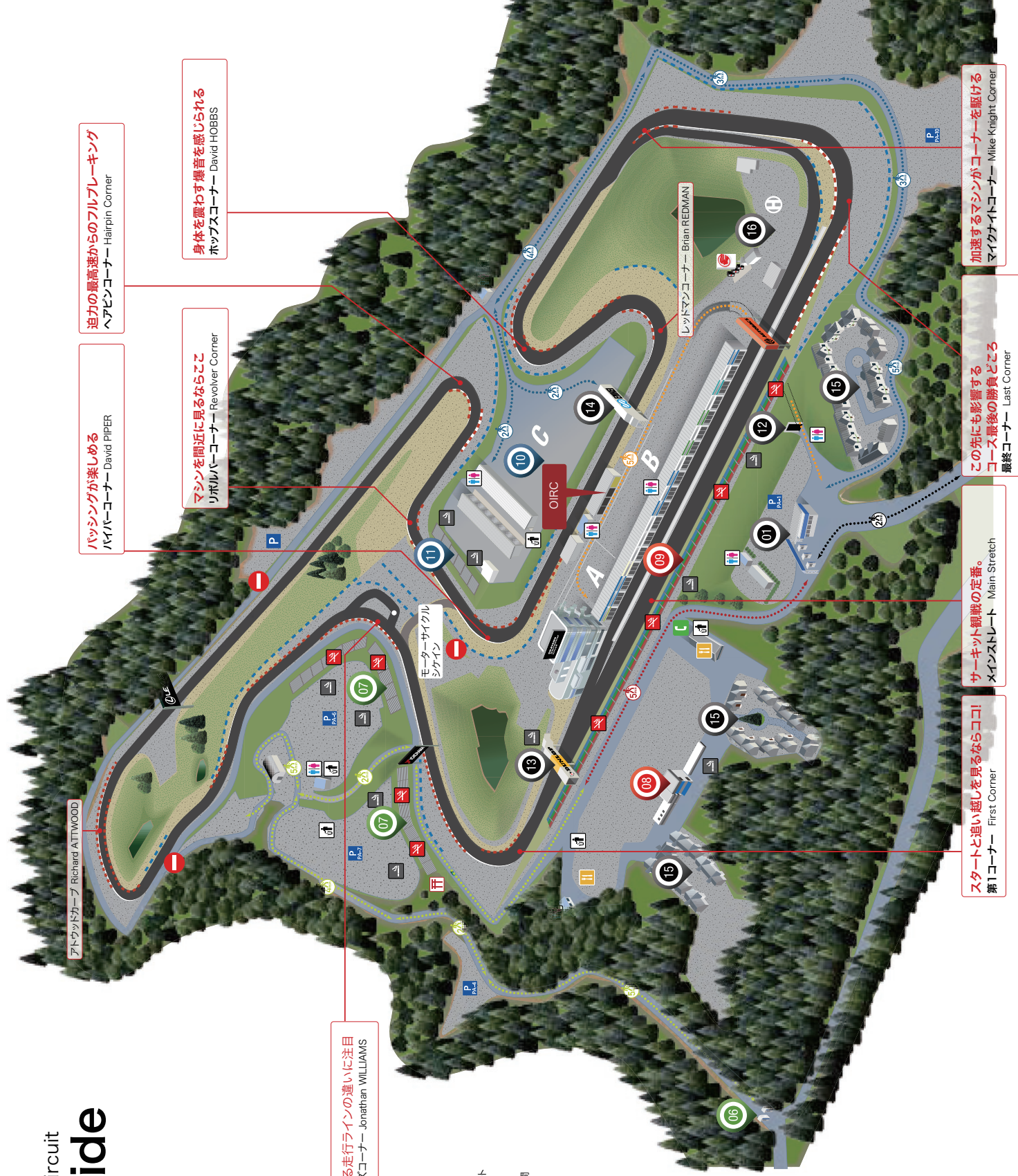
(1.10%緩勾配)

車種による走行ラインの違いに注目
ウィリアムズコーナー Jonathan WILLIAMS

- 駐車場
- トイレ
- ゴミステーション
- 喫煙所
- 売店/食事
- 公共電話
- メディカルヘリポート
- 周回道路
- 徒歩移動所要時間

※場内は全面禁煙です。
喫煙は所定の喫煙所をお願いします。

- 西ゲートエリア
- 西ゲート
- 1,2コーナースタンド
- ミニコース・メイニングランドスタンドエリア
- ミニコース総合インフォメーション
- メインスタンド
- バックQエリア
- Cバドック
- Cバックススタンド
- そのほか施設
- メインゲート
- カルバート
- ダンロップブリッジ
- エンケイブリッジ
- ロッジ
- ガソリンスタンド/メディカルセンター



バッシングが楽しめる
ハババーコーナー David PIPER

迫力の最高速からのフルブレーキング
ヘアピンコーナー Hairpin Corner

マシンを間近に見るならここ
リボルバーコーナー Revolver Corner

身体を震わす爆音を感じられる
ホップスコーナー David HOBBS

車種による走行ラインの違いに注目
ウィリアムズコーナー Jonathan WILLIAMS

レッドマンコーナー Brian REDMAN

スタートと追い越しを見るならココ!
第1コーナー First Corner

サーキット観戦の定番。
メインストレート Main Stretch

この先にも影響する
コース最後の勝負どころ
最終コーナー Last Corner

加速するマシンがコーナーを駆けける
マイクナイトコーナー Mike Knight Corner



DUNLOP MOTORSPORT & SPORT TYRE



DIREZZA 03G **DIREZZA β^{02}** **DIREZZA β^{11}** **DIREZZA ZII** **DIREZZA 74R** **DIREZZA 88R** **DIREZZA 301R** **DIREZZA 201R** **DIREZZA 95R**

HIGH GRIP (CIK-FIA公認)

SL (JAF認定)

RENTAL KART



High Grip tyre SLICK
DH M

RAIN (Front)
W15

RAIN (Rear)
W15

SLICK
SL6/SL83/SLJ

RAIN (Front)
W2

RAIN (Rear)
W2

ALL WEATHER
SL98

SLICK
DRK-L1/DRK-SP/KE-1



DUNLOP
MOTORSPORT
WEB SITE



DUNLOP
MOTORSPORT
FACEBOOK



DUNLOP
MOTORSPORT
INSTAGRAM

<http://tyre.dunlop.co.jp>

月に一度は空気圧の点検を！

タイヤお客様相談室
0120-39-2788
受付時間 平日(月～金)
9:00～12:00/13:00～17:00

JEVRA EV PORTABLE QC SERIES

日本電気自動車レース協会(JEVRA)では、2010年から培って来たEVレースの経験を生かした急速充電器の販売を開始しました。



- ▶ 持運び可能なEV用急速充電器です。(電源は別途必要です。)
- ▶ 接続プラグは、日本(CHAdemo)/アメリカ(CCS1)
ヨーロッパ(CCS2)/中国(GB/T)の規格に対応しています。
- ※接続プラグはCHAdemoが付属しておりますが、オプションの接続プラグを使用することでアメリカ(CCS1)/ヨーロッパ(CCS2)/中国(GB/T)規格にも対応します。
- ▶ 移動式急速充電器は、様々な場所でご利用頂けます。

自動車整備工場/マンション駐車場/ビル駐車場/外車並行輸入業者/タクシー会社
レンタカー会社/ホテル・旅館駐車場/EVイベント会社/テストコース/サーキットなど

※室外でのご利用は避けて下さい。(雨天/直射日光は避けて下さい。) ※本体の操作は、特定少数の方のみで行って下さい。
※本体を稼働する時は、必ず固定してご使用下さい。 ※本体には別途、送料が必要です。

No.	型式	定格出力	入力電流	入力電圧 (V) ★1	出力電流 (A)	サイズ/W×D×H	重量	CCS1 / CCS2 / GBT	価格
①	JEP143420	14kW	44.91A	3相4線/AC200V	40A@DC350V	66×28×60cm	36kg	オプション	オープン
②	JEP211320	21kW	116.67A	単相3線/AC200V	55A@DC350V	66×28×60cm	41kg	〃	〃
③	JEP213420	〃	64.15A	3相4線/AC200V	55A@DC350V	66×28×60cm	41kg	〃	〃
④	JEP283420	28kW	89.81A	3相4線/AC200V	80A@DC350V	66×28×60cm	58kg	〃	〃
⑤	JEP303438	30kW	50.65A	3相4線/AC380V	75A@DC400V	78×60×48cm	100kg	〃	〃
⑥	JEP403438	40kW	67.53A	3相4線/AC380V	40A@1000V	78×60×48cm	100kg	〃	〃
⑦	JEP421320	42kW	134.72A	3相4線/AC200V	120A@DC350V	68×71×87cm	120kg	〃	〃
⑧	JEP453438	45kW	75.97A	3相4線/AC380V	90A@DC500V	78×56×59cm	140kg	〃	〃
⑨	JEP493420	49kW	157.17A	3相4線/AC200V	98A@DC500V	63×66×101cm	190kg	〃	〃
⑩	JEP603438	60kW	101.29A	3相4線/AC380V	120A@DC500V	69×60×48cm	100kg	〃	〃
⑪	JEP603438	60kW	101.29A	3相4線/AC380V	60A@1000V	69×60×48cm	110kg	〃	〃
⑫	JEP633420	63kW	202.08A	3相4線/AC200V	180A@DC350V	62×66×101cm	220kg	〃	〃

★1: 入力電圧の誤差は±15%～20%です。

[販売元]

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 2-6-30

株式会社エムアンドティプランニング内

日本電気自動車レース協会(JEVRA)

☎ 03-6411-0092 ✉ ev-charger@jevra.jp

